



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月7日

上場取引所 東

上場会社名 神鋼鋼線工業株式会社
 コード番号 5660 URL <http://www.shinko-wire.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務本部長兼総務部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月9日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 小南 孝教
 (氏名) 藤森 直樹

TEL 06-6411-1051

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	20,926	△2.5	1,060	△17.8	927	△20.9	308	△5.0
23年3月期第3四半期	21,466	△7.4	1,289	△21.3	1,173	△19.9	324	△52.4

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 395百万円 (△5.7%) 23年3月期第3四半期 420百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	5.91	—
23年3月期第3四半期	6.22	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	41,909	18,691	36.7
23年3月期	41,754	18,621	36.9

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 15,392百万円 23年3月期 15,391百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	2.00	—	3.00	5.00
24年3月期	—	2.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	3.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,950	△0.1	1,510	△16.4	1,380	△13.9	550	△10.5	10.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	58,698,864 株	23年3月期	58,698,864 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	6,605,280 株	23年3月期	6,594,840 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	52,098,952 株	23年3月期3Q	52,124,563 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響を受けて厳しい状況にあるなかで、生産活動は回復に向かいつつありましたが、個人消費は横ばいで推移、雇用情勢は引き続き厳しく、また欧州諸国の金融不安、円高の進行など、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループを取り巻く事業環境は、公共投資関連需要では、震災に伴う第3次補正予算が成立しましたが、総じて低調に推移し、また民間需要も自動車など一部の分野では震災後の低迷から回復の動きがありましたものの、足踏み状態が続き、引き続き厳しい状況で推移しました。

このような状況に対しまして、当社グループは、高付加価値製品の販売拡大による収益力の向上を図るとともに、収益改善活動や新生産プロジェクトを引き続き推進し、コスト競争力の強化を図ってまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、一部の民間関連分野で持ち直しの動きはあったものの、公共投資関連など全体としては需要環境が厳しく、売上高は20,926百万円と前年同期に比べ2.5%の減収となり、営業利益、経常利益はそれぞれ1,060百万円（前年同期比17.8%減少）、927百万円（前年同期比20.9%減少）となりました。また法人税率引下げに関連する法律が公布されたことに伴う繰延税金資産等の一部取崩しを含めた法人税等および少数株主利益を差し引いた後の四半期純利益は308百万円（前年同期比5.0%減少）となりました。

当第3四半期連結累計期間のセグメント毎の状況は次のとおりです。

<特殊鋼線関連事業>

（PC関連製品）民間投資関連では、マンション需要が回復基調にあり、倉庫物件やプロジェクト物件も堅調に推移しましたが、一方公共投資関連では、東日本大震災の復興計画の具体化が遅れており、第3四半期に入って工事入札は上向いてはきましたものの、回復までには至りませんでした。このように公共事業関連の発注が依然低調で、競争激化が一層激しさを増すなか、堅調な民間需要の取り込みを図ってまいりました結果、全体としては、販売数量は前年同期比増となりましたが、売上金額は僅かながら下回りました。

（ばね・特殊線関連製品）主要な需要分野である自動車産業向けの弁ばね用鋼線（オイルテンパー線）は、東日本大震災の影響により落ち込み、6月以降回復基調にあったものの、さらにタイ洪水影響も加わって、前年同期に比べ販売数量・売上金額とも減少となりました。また、OA関連製品、家電・弱電向けのばね用ニッケルめっき鋼線も、震災影響を受けた後、国内・輸出とも回復傾向となりましたが、タイ洪水影響もあり、前年同期に比べ減少となりました。ステンレス鋼線は、主力の建築関連向けが外国材との競争により回復傾向には至らず、引き続き厳しい状況で推移しました。

その結果、特殊鋼線関連事業全体の売上高は10,511百万円と前年同期に比べ4.9%減少となり、営業利益は505百万円と前年同期に比べ35.0%減少となりました。

<鋼索関連事業>

国内総需要は、主要分野である土木建築、機械、代理店向けが引き続き低調に推移しましたことから、前年同期とほぼ同様の低水準となりました。また、輸入品が前年同期と同様の高い水準で推移したこともあり、国内向けにつきましては販売数量・売上金額とも減少となりました。また輸出につきましても、円高の影響等により減少し、全体では前年同期に比べ販売数量・売上金額とも減少となりました。

その結果、鋼索関連事業全体の売上高は9,141百万円と前年同期に比べ2.7%減少となり、営業利益は543百万円と前年同期に比べ10.0%減少となりました。

<エンジニアリング関連事業>

主力製品である吊構造用ケーブルにつきましては、橋梁向けは減少となりましたものの、建築向けは民需分野で好調であったため、全体の売上金額は前年同期に比べ増加しました。また、落橋防止ケーブルは前年同期に比べ売上減となりましたが、道路騒音防止関連製品は売上増となりました。

その結果、エンジニアリング関連事業全体の売上高は、1,227百万円と前年同期に比べ26.3%増加となり、営業損益は23百万円の損失（前年同期は127百万円の損失）となりました。

<その他>

不動産関連事業の売上高は45百万円と前年同期に比べ2.9%減少となり、営業利益は34百万円と前年同期に比べ2.4%減少となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末との比較において、次のとおりとなりました。

総資産は、154百万円増加の41,909百万円となりました。これは主として受取手形及び売掛金が増加したことによるものです。

負債は、85百万円増加の23,217百万円となりました。これは主として借入金が増加したことによるものです。

純資産は、69百万円増加の18,691百万円となりました。これは主として利益剰余金の増加によるものです。また、自己資本比率は36.7%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の通期の業績予想につきましては、前回公表(平成23年11月9日)いたしました業績予想から修正しております。詳細につきましては、本日別途開示しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,576	5,419
受取手形及び売掛金	9,314	10,018
商品及び製品	3,631	4,200
仕掛品	2,006	2,282
原材料及び貯蔵品	1,592	1,742
繰延税金資産	361	170
その他	363	393
貸倒引当金	△277	△170
流動資産合計	23,569	24,057
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,649	4,473
機械装置及び運搬具（純額）	4,373	4,302
工具、器具及び備品（純額）	189	169
土地	6,056	6,056
リース資産（純額）	47	39
建設仮勘定	110	83
有形固定資産合計	15,427	15,126
無形固定資産	108	255
投資その他の資産		
投資有価証券	364	403
長期貸付金	0	0
繰延税金資産	1,488	1,303
その他	1,014	982
貸倒引当金	△219	△218
投資その他の資産合計	2,648	2,470
固定資産合計	18,184	17,851
資産合計	41,754	41,909

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,092	3,035
短期借入金	6,244	8,174
リース債務	19	19
未払費用	1,291	1,282
未払法人税等	395	53
賞与引当金	547	231
環境対策引当金	—	19
その他	395	398
流動負債合計	11,986	13,214
固定負債		
長期借入金	7,509	6,523
リース債務	33	24
退職給付引当金	2,185	2,195
役員退職慰労引当金	34	37
環境対策引当金	70	51
繰延税金負債	558	486
負ののれん	154	107
その他	600	575
固定負債合計	11,145	10,002
負債合計	23,132	23,217
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,062	8,062
資本剰余金	6,354	6,354
利益剰余金	2,287	2,335
自己株式	△1,350	△1,351
株主資本合計	15,354	15,401
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	36	△8
為替換算調整勘定	—	△0
その他の包括利益累計額合計	36	△9
少数株主持分	3,230	3,299
純資産合計	18,621	18,691
負債純資産合計	41,754	41,909

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	21,466	20,926
売上原価	16,653	16,625
売上総利益	4,813	4,300
販売費及び一般管理費	3,523	3,240
営業利益	1,289	1,060
営業外収益		
受取利息	38	39
受取配当金	9	10
負ののれん償却額	46	46
固定資産賃貸料	39	35
還付消費税等	35	—
その他	6	7
営業外収益合計	174	138
営業外費用		
支払利息	163	128
その他	126	142
営業外費用合計	290	271
経常利益	1,173	927
特別損失		
貸倒引当金繰入額	286	—
減損損失	82	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	4	—
特別損失合計	372	—
税金等調整前四半期純利益	800	927
法人税、住民税及び事業税	246	167
法人税等調整額	100	316
法人税等合計	347	483
少数株主損益調整前四半期純利益	453	444
少数株主利益	128	136
四半期純利益	324	308

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	453	444
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△33	△47
為替換算調整勘定	—	△0
その他の包括利益合計	△33	△48
四半期包括利益	420	395
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	294	262
少数株主に係る四半期包括利益	125	133

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報

1 前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	特殊鋼線 関連事業	鋼索関連 事業	エンジニ アリング 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	11,054	9,393	972	21,419	47	21,466	—	21,466
セグメント間の内部売上高 又は振替高	593	137	1	732	—	732	△732	—
計	11,647	9,530	973	22,152	47	22,199	△732	21,466
セグメント損益	777	603	△127	1,254	34	1,289	—	1,289

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産関連事業であります。

(注2) セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

2 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	特殊鋼線 関連事業	鋼索関連 事業	エンジニ アリング 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	10,511	9,141	1,227	20,880	45	20,926	—	20,926
セグメント間の内部売上高 又は振替高	540	140	2	683	—	683	△683	—
計	11,052	9,281	1,229	21,563	45	21,609	△683	20,926
セグメント損益	505	543	△23	1,026	34	1,060	—	1,060

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産関連事業であります。

(注2) セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。